



なつかみの郷

祝祭日は国旗「日の丸」を揚げましょう

白地に赤く 日の丸をめぐめて

ああ美しい 日本の旗は

(日本の唱歌より)

第9号

平成23年
6月15日発行

奈加美神社

泉佐野市中庄 834
電話 462-7080

東日本大震災復興祈願祭

去る三月十一日、東北地方太平洋沖で発生した大地震及び大津波は、東日本に甚大な被害をもたらしました。無念にもお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災者の皆様方からお見舞いを申し上げます。

当社では例年四月二十九日の昭和の日に、五穀豊穰を祈る春祭、また昭和天皇の御聖徳を仰ぎ国家の安泰を祈る昭和祭を執り行っております。本年は被災地の一日も早い復興を願い、各町内会長を始め神社総代、敬神婦人会、各関係者のご参列のもと、東日本大震災復興祈願祭を併せて執り行いました。

春祭・昭和祭の祝詞に続き震災復興祈願の祝詞を奏上、次いで雅楽の伴奏に合わせて国家「君が代」を参列者全員で声高らかに斉唱し、巫女による神楽「浦安の舞」の奉納に続き、宮司始め参列者が玉串拝礼を行い復興の祈りを捧げました。

日本人の雄々しき精神

わが国日本は、長い歴史の中で度々の地震・津波の被害を受けながらも、先人達はその都度立ち上がり復興を遂げてまいりました。今回の震災は千年に一度の大災害、また戦後以来の国難とも言われています。この未曾有の悲惨な状況にあっても、被災

者の方々には礼節をわきまえ冷静さを保ち、お互いに助け合いながら非難生活を送り、復興の道を歩んでおられます。その静かにして雄々しい姿は世界各国からの称賛を得ることとなりました。この精神は先人達から受継いだ、日本人が誇ることでできる素晴らしい美徳であります。戦後目覚ましい復興を遂げ、豊かな暮らしを手に入れた反面、日本人の精神が失われつつあると言われておりましたが、その根底、根っこの部分においては失われていなかったのではないのでしょうか。

明治天皇御製

しきしまの 大和心のををしきは

ことあるときぞ あらはれにける

今回の震災を受けて、日本人一人一人が様々な考えを巡らしたことを思います。家族の絆や人に対する思いやりの心、また自然に対しての畏敬の念や生かされていることへの感謝。こう云う思いや日本人の精神を常に意識して更に育み、日本全体でこの国難を乗り越え、力強く復興することを願わずにはおられません。

昭和天皇御製

ふりつもる み雪にたへて いろかへぬ

松ぞををしき 人もかくあれ

一般被災者義捐金 (日本赤十字社)

合計 四十一万六千二百七十三円

- (五万円) 奈加美神社敬神婦人会、北岡忠澄、(四万円) 匿名一名、(二万円) 塩島悟、(一万五千元) 田出信男、(一万三千元) 坂本龍馬、(一万円) 伊藤初代、奥野増男、小竹尚、関井萬吉、中川千登勢、野際栄三、松林竹千代、吉本ミチ子、匿名一名、(五千元) 大東久夫、奥野八重子、貝野市松、川崎正、小松安夫、白地龍雄、大工隆治、高橋光枝、滝元妙、竹蔵貞夫、西内榮一、西野光男、野口博、濱野美義、松浪敬一、松浪幸雄、松谷惣太郎、安松谷貞治、山岡修、(四千元) 日根野谷寛孝、(三千元) 長瀧義雄、山崎しおり、湊三丁目匿名、匿名一名、(二千元) 沖ユリ子、匿名一名、(千円) 池田、奥野紫帆、奥野涼風、奥野リユウジ、片山みずき、北岡千弥、北岡弥芽、北岡弥倭、杉浦毅彦、津島素、長手慎太郎、花田正長、松浪賢治、渡辺嘉隆、匿名六名、(五百円) 恩地恒佑、匿名四名、(二百円) 匿名一名、(百円) 花田一真、匿名四名、(七十三円) 匿名一名、以上

神社復興義捐金 (神社本庁)

合計 十八万円

- (十万円) 奈加美神社総代会、(五万円) 奈加美神社、(三万円) 奈加美神社敬神婦人会役員一同 (樋口敏子、中野みや子、川崎カネ子、関井サキ子、北野榮子、松浪富子、覚野利子、坂口治美、加賀麗子、奥野菅子、北川道子、北岡里美) 以上

ご協力ありがとうございました



五月二十二日に神前結婚式が執り行われました。新婦は佐野台の橋岡喜子さん、新郎はアメリカ人のランディウアリンソンさん、関西国際空港のお膝元・泉佐野らしい国際カップルです。新郎さんは初めての紋付袴に慣れない様子でしたが、ご神前では誓詞を立派に奏上されました。



ご家族を始め多くの友人の方々もご参列になり、厳粛ななかにも、日米の和やかなムードがたまたよい、皆さんからの温かい祝福を受けられました。奈加美神社での神前結婚式を通じて、日本文化の一端を感じて頂いたことかと思えます。お二人の末永いご多幸をお祈り申し上げます。

鎮守の杜の植物 —紫陽花(アジサイ)—

しとしと降る霧雨がよく似合い、母性的なたおやかさを持つ紫陽花は、梅雨の季節を美しく彩ります。江戸後期に日本に滞在したドイツ人医師・シーボルトが愛したお滝さんに因み紫陽花を「オタクサ」と名付けた話が有名です。

日本固有種の紫陽花(ヤマジサイ)は、各地の海岸沿いや山中に自生し、万葉の時代から親しまれてきました。一七〇〇年代後半にヨーロッパに伝わり、

色彩感覚豊かなヨーロッパ人の手によって改良され、西洋アジサイが作られました。ヤマアジサイ、西洋アジサイともに多くの品種があります。最近では北米産のアナベルや、柏の葉に似た葉で円すい型の花を咲かす柏葉アジサイなど、変わった品種もよく見かけられるようになりました。

いづれの種類も挿し木で簡単に増やすことができます。丈夫な植物です。

本殿横の神苑に数株植えつけています。日当たりが強いので葉もひきしまり、たおやかさには少し欠けますが、元気に成長しています。

蓮の回廊

蓮の栽培も年々充実してまいりました。約二十鉢程度の大鉢を参道沿いに並べます。

六月中旬から七月下旬に掛けて、見事な花を咲かせます。珍しい品種もございますので、是非お立ち寄りご覧下さい。



献灯(提灯)募集のご案内

奈加美神社では秋祭り及び歳末く小正月に掛けて道沿いに氏子各位からご奉賛頂いております提灯を掲げ、お祭りの雰囲気盛り上げております。本年も二十灯分の空きスペースを確保しております。年二回掲揚し、三年間の献灯料が一万五千元となります。皆様の祈願を込めて頂く献灯であると同時に、日常の神社の護持運営に際しての貴重な財源でもあります。百周年記念事業でご社頭の面目も一新致しましたが、境内を見渡せばまだまだ整備・修繕を必要とする箇所がございます。どうぞ氏子様方には趣旨をご理解頂きまして、一灯でも多くご奉賛賜りますようお願いを申し上げます。

三年間献灯初穂料 一万五千元

お問合せは奈加美神社まで

電話 四八二七〇八〇



ご祈祷のご案内

お宮参り・安産祈願・七五三
厄除け・車のお祓い
地鎮祭・住宅入居のお祓い
神道家霊祭等、各種お祓い
受付致しております
お電話にてご予約お申込み
下さい